静岡県東部地域企業経営動向調査

(2008年7~9月期実績、2008年10~12月期見通し)

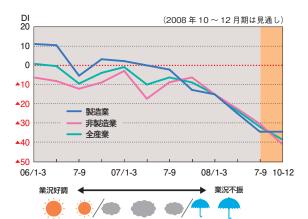
(1)業況概要

製造業・非製造業とも業況判断DIの悪化が続く

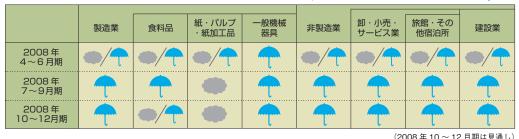
静岡県東部地域における 08 年 7 ~ 9 月期の業 況判断 DI(全産業) は、▲32.0(前期▲23.6)と 悪化が止まらず、03年1~3月期以来のDI▲30 以下の水準となった。

製造業の業況判断DⅠは▲34.6(同▲25.0)、非 製造業も▲30.5(同▲22.6)といずれも悪化して いる。原材料等の値上がりや受注・売上の停滞・ 減少等により、売上や利益の DIも大幅に低下し ており、全般的な業況判断は厳しさを増している。

08年10~12月期の見通しは、製造業では横 ばいを見込む一方、非製造業では一層の低下を予 測することから、10~12月期の予測 DI(全産業) も▲38.7とさらに低下が予想され、先行きへの 期待感も弱い状態にある。



業種別天気図



(2) 売上動向

製造業、非製造業ともDIが大幅に低下

08年7~9月期の全産業の売上動向DIは4 期連続で低下し、▲20.1 (前期▲7.5) となった。 製造業ではパルプ・紙・紙加工品のみ DI がプラ スを維持したが、一般機械器具をはじめ金属製品 や食料品などが低下したため、全体 DIは▲21.3(同 **▲8.1**) となった。

一方、非製造業では建設業で DI がやや改善 (▲17.4)したが、旅館・その他宿泊所やその他小売・ サービス業等の落ち込みが大きく影響し、全体で は▲19.3 (同▲7.1) と低下している。

08年10~12月期(見通し)の予想 DI は全産 業で▲23.5となり、やや低下が予測されている。 特に非製造業で▲27.1 とさらなる下落を見込ん でおり、先行きへの見方は厳しい。



(3) 利益動向

製造業のDIは低水準で推移、非製造業は大幅に低下

08年7~9月期の全産業の利益動向 DI は ▲35.8(前期▲28.9)と4期連続で低下した。 うち、製造業はパルプ・紙・紙加工品や一般機 械器具が若干上向いたが、食料品や金属製品が 低下し、全体では▲44.4(同▲45.5)と引続き 低水準で推移した。

一方、非製造業の全体 DI は▲30.5 (同▲ 17.9) と大幅に低下した。特にその他小売・サー ビス業等が▲30.8(同▲11.2)と低下している。

08年10~12月期(見通し)のDIは、全産 業で▲35.0とほぼ横ばいが見込まれている。う ち製造業では▲33.6と反転上昇への期待が強い

が、非製造業では▲35.8と続落が予測され、見 方は分かれている。



(4)経営上の問題点

「受注・売上の停滞・減少」比率が大幅に上昇

引続き「原材料・仕入商品の値 上がり」が1位を占めているが、「受 注・売上の停滞・減少しの回答比 率が前期比7.2ポイントと大幅に 上昇した他、「その他経費の増加」 も同3.9ポイント上昇している。

原油を中心とした原材料価格の 高騰が様々な経費を上昇させ、受 注・売上の減退、さらに業況感の 後退に波及している構図が鮮明に なってきている。

					(社、%
	08年4~6月期		08年7~9月期		順位
	企 業	割合	企 業	割合	変 動
1. 原材料・仕入商品の値上がり	181	64.6	169	59.3	→
2. 受注・売上の停滞・減少	142	50.7	165	57.9	→
3. 人材の育成	93	33.2	95	33.3	→
4. 過当競争・製品安	91	32.5	91	31.9	→
5. その他経費の増加	55	19.6	67	23.5	→
6. 生産・販売能力の不足	46	16.4	43	15.1	1
7. 従業員の高齢化	49	17.5	42	14.7	ļ
8. 求人難	38	13.6	34	11.9	→

調査の概要

- 1 調杏日的
- 静岡県東部地域 (富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握 2. 調査対象企業
- 静岡県東部地域に立地する企業1,040社
- 3. 調查方法
- 当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査 4. 調査対象期間
- 実 績:2008年7~9月期
- 見通し:2008年10~12月期
- 2008年8~9月

: ディフュージョンインデックス (Diffusion Index) の略。 「上昇/増加/好転」した企業割合から「下降/減少/悪化」 した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標